

Singapore <シンガポール>

HO PENG、教育長官（教育省）：シンガポールでは、教師がきわめて高い意識を持っています。私が話をする先生方は、子どもに最高の教育を与えようとしています。心の底から仕事に誇りを持ち、強い意欲を抱き、教育が国家の礎になると考えているのです。

TITLE: Strong Performers and Successful Reformers in Education: Singapore

HO PENG：わが国は教育を何より重視しています。シンガポールは国土が非常に狭く、天然資源に恵まれないからです。そのため教育は私たちにとって、独立以来、常に国家のアイデンティティを形成し、国民を一つにまとめる手段だったのです。さらに、わが国が経済発展を遂げ、その好調さを維持するのに必要な手段でもあったのです。

DAVID HOGAN 教授（国立教育研究所、主任研究員）：政府は、シンガポールをグローバル・シティ（世界的都市）であると宣言し、国の未来はグローバル・シティとして発展し続けることにあると訴えてきました。政府は事あるごとに学習や教育の役割の大切さを強調し、ここ 12～13 年は教育が国家形成に果たす決定的な役割を重視する一連の政策を発表しています。

CHRISTINE LEE 教授（国立教育研究所、学習指導カリキュラム責任者）：変化を起こすカギは教師が握っているという強い信念があります。どんな改革でも実現することができます。一日が終わるとき、教室に変化をもたらすのは教師です。教師は毎日接触している児童らの学習に大きな違いを生み出すのです。

HENG SWEE KEAT、教育相：独立直後のわが国は非常に貧しく、大勢の若者を急いで教育する必要がありました。そこで私たちが実行したのは、非常に中央集権的で効率的な仕組みにより、ごく短期間で教育システムを作り上げることでした。規格化したスタイルで学校を整備し、一定の基準をもとに教師を大量採用しました。この問題を解決すると、次の段階は学習の到達度を引き上げることでした。

HO PENG：わが国の発展において大変重要な時期だったと言えます。学習指導の方法を一念に構築することに力点が置かれたからです。

教師：同じように、各ターミナルに 2 人ずつ分かります。ターミナルで何か問題を見つけたら、手を挙げてください。先生がそこに行きます。いいですか？ では始めましょう。

HENG SWEE KEAT : わが国の基本的信念は、教育システムが教育者の質を超えることはできないということです。ですから教師に適している人を採用することに非常に力を入れています。私たちはまず学業成績を基に、学生の上位 3 分の 1 の層から教師を募集します。上位 3 分の 1 の学生の中から一連のテストや面接を通じて、学習指導に熱心かどうか、生徒の面倒を見られるどうかを選考します。その後、国立教育研究所で厳しい訓練を積むこととなります。

テキストスライド : 国立教育研究所 (NIE) は、シンガポールの教員養成機関である。教育省は将来有望な教師を選考し、NIE で訓練を受けさせる。教員養成課程を修了すると、彼らは各学校に配置され、経験豊かなメンター (指導役の教師) からさらに教えるを受ける。

TAN OON SENG 教授 (国立教育研究所、教員養成学部長) : 当機関のカリキュラムを支える哲学について説明しましょう。私たちは第一に、教師が学習者のよき導き手となること、そして第二に、担当教科のすぐれた導き手となることを目標に、教師を訓練します。その重要な根拠となるのは、すぐれた教師は非常に熱心で、学習を手助けする方法、生徒が最も学習しやすい方法を明確に心得ているということです。

教師 : いいですか。たとえば 10 分間の短編の課題があり、シンガポール映画を撮らなければなりません。シンガポールの教師を描いた示唆に富む映画で、近隣のある学校が舞台です。この教師はどんな様子で、あなたたちはどんな映画を作るでしょうか。わかりましたか? ここにマーカーペンがあります・・・

LEE SING KONG 教授 (国立教育研究所所長) : 教育システム全体の中で我々は大切な役割を担っています。第一に、わが国の教育システムが毎年受け入れるすべての新人教師を養成します。毎年約 2000 人が教員養成課程を終え、各学校に赴任していきます。第二に、教育システムに在籍する 3 万 1000 人の教師についてです。わが国の政策担当者は、3 万 1000 人の現職教師の専門的能力の向上が、新人の養成と同様に重要であるとの正しい認識を持っています。

教師 : この作業のカギとなる要因は何でしょうか? 私が思うに、このようなやり方で質問をすれば、生徒は答えを紙に書き写すだけです。では、どうすればこの質問をソクラテス式問答法にできるでしょうか? また、ソクラテス式問答法のどのタイプを使いますか?

HO PENG : 私たちは生涯学習が大切だと強く信じています。養成段階では、新人教師に、すぐれた教師がどういうものかをすべて教え込むことはできません。駆け出しの教師がい

つでも立ち止まり、継続的な学習と現職研修を続けられるようにする必要があります。彼らには専門的能力を向上させる機会が多く与えられます。こうした豊富な機会や支援があることは多くの国々の羨望の的だと思います。

LEE SING KONG 教授：学校現場の教師の能力を高める、とても体系的な取り組みがあります。教育省は実際に、教師の専門的能力の向上を支援しています。重要性を認識している表れとして、各教師が 100 時間を能力開発に充ててレベルアップする権利を認めています。

テキストスライド：2009 年、教育省はシンガポールの学校に「専門職学習コミュニティ (PLC)」という概念を導入した。PLC は、生徒の学習効果を高めるという明確な目的のもと、教師がお互いの考えを共有し、学び合う場を提供している。

テキストスライド：現在までに 271 校に PLC が設置された。継続的に対話やフィードバックを繰り返すことで、教師は授業を進める技能を向上させ、常に最新の実践方法を取り入れることができる。

教師：今日は、ソクラテス式問答法によって、いかに生徒の学習の足場を築くことができるかを考えます。絵の論評について考えます。いいですか？ その前に、いくつか質問を取り上げましょう。生徒に学習成果を達成させるうえで何か不安がありますか？ 今直面しているのはどんな問題ですか？

ADRIAN LIM、校長（ニーアン中等学校）：私たちは専門職学習コミュニティを設ける必要性を強く感じています。PLC の 3 文字の真ん中にある「L」は学習を意味します。だから教師も学ばなくてはなりません。最近台頭してきた知識経済で考えると、知識は毎日生み出されています。教師はその内容を常に把握し、新しい教授法の発達にもついていく必要があります。もし教師が学習を続けなければ、インターネットやソーシャル・メディアを通じて膨大な情報にさらされる現代の子どもたちと関わるのが非常に難しくなるでしょう。教師が学習をやめた途端に、子どもたちと効果的な関わりをもつことができなくなります。

教育実習生：より深く絵を理解できるように質問をするのが最適だと思いますが。

教師：あなたが提案しているのは観察批評ということですか。

教育実習生：ええ、解釈、影響、そういったものです。

ADRIAN LIM：そうするためには、教師が協力して共同作業を行い、お互いの授業の実践方法を知ることです。それが不可欠であり、決定的に重要だと思います。すぐれた指導方法は、四方の壁で囲い込み、一人の先生の胸の内にしまうべきではないからです。この学校でも教師の間で共有できることがたくさんあると思います。

教師：今やるべきことは、ソクラテス式問答法を思い出し、発見をもっと明確にするために、何を使うのかを考えることです。では、インターネットで調べましょう。この意見を支持するのに役立つ証拠を何か探しましょう。

MUNEIRA DAUD（ニーアン中等学校・英語・英文学科長）：専門職学習コミュニティは教師が自らの指導方法を向上させる基盤を持つことを目的にスタートしました。実際、主として生徒がどうすれば最も学習しやすいかを探っています。そのためには教師が力を合わせなくてはなりません。私たちは意見を交換し、実際にあれこれ試し、最終的に結果をチェックします。ねらいは、教師の考えを共有すること、生徒のために指導を向上させることです。

テキストスライド：ニーアン中等学校は「フューチャー・スクール（未来の学校）」に指定されている。教育現場に新しいアイデアや試行を進んで取り入れ、テクノロジーやデジタル・メディアを重視した柔軟な学習環境を目指している。

PLC 参加の教師：同僚教師のモデル授業を見学しているところです。このプロセスは、彼女の授業から何らかのヒントを学ぶためであり、こちらがフィードバックを与えるためでもあります。よりよい授業の方法を見つけるために、私たちは話し合います。学習には共有やコミュニケーションが欠かせません。そうすればどんな授業にも必ず改善の余地が見つかります。

教師：兵役とはどういうものでしょうか？ それを考えると、頭に何が思い浮かびますか？（生徒の返答）

MUNEIRA DAUD：必ず何か新しく学ぶことがあります。決して行き詰まることはありません。常に前進し、限界を乗り越え、新しい発見を探し、新しい指導方法を探しています。決まり切ったやり方に縛られることがなく、刺激に満ちた毎日です。たとえ教授法に問題がなくても、常に技術の進歩と向き合う必要があり、常に子どもたちと気持ちを通わせ、本気で向き合うための新たな手立てを考えなくてはなりません。

教師：ここで問題です。哲学は、時間感覚の変化の速さを明らかにする。これは本当でし

ようか？ みなさんの答えはツイートで投票してもらいます。ツイートの手順と投票フォーマットです。「at sign vote by tweet 1」と書き込んでください。

LEE SING KONG 教授：1990年代前半には教師が知識を独占し、彼らが教室で知識を与え、生徒がそれを学んでいました。しかし現在は、もはや知識は教師だけのものではありません。生徒はありとあらゆる情報源を通じて知識を得られます。ですから今日の教師の役割は・・・確かに知識を分け与える場合もありますが、知識の習得を助けるという働きが非常に大きいのです。生徒がどこで正しい知識を入手するか、知識をいかに融合させるか、集めた情報の違いをいかに見分けるか、といったことを学ぶ手助けをするのです。

教師：エネルギーは新しく作ったり壊したりすることができません。これは何の法則ですか？ そうです。エネルギー保存の法則ですね。

ADRIAN LIM：私たちはテクノロジーを非常に有意義にとらえています。テクノロジーを活用し、教室の学習指導で大きな効果を生むにはどうすべきかを考えています。例を挙げましょう。40人のクラスでは、同じテーマで40人の生徒から40の質問を受けるのは不可能です。しかしインスタント・メッセージを使えば、40人の子どもたちに40のウィンドウを開くことができ、同時に40の質問を受けることだってできます。教師は情報ツール上で生徒が思考を巡らせていることを確認できます。一方、子どもたちはペンや鉛筆ではなく、日ごろ慣れ親しんだツールを使うことで、より興味が高まります。

教師：すべてをパワーポイントのスライド1枚にまとめます。主要部分の枠組みに、他の部分を書き入れていきます。いいですか？

ADRIAN LIM：わが校には大勢の若手教師がやって来ます。彼らは情報、コミュニケーションなどの技術ツールを実に上手に使いこなします。そして先輩教師にその効果的な使い方を教えてくれます。

ASHIKIN ABU（ニーアン中等学校、生物教師）：あなたはこんなふうに、授業中に生徒が自力で考えるようにさせたいのでしょうか？ 答えが出なくても大丈夫ですね。

CAROLYN KHOO（ニーアン中等学校、生物・化学教師）：ええ、そうです。正直に言います。私たちは一緒に学ぶためにここにいるのだと。

ASHIKIN ABU：その通りです。私は、あなたのまとめた研究が授業に大いに役立つと思います。

ADRIAN LIM : わが校では各教師にメンターが付きます。ですから新米の教師が来ても一人で取り残されることはありません。少なくとも5年以上の指導経験があるベテラン教師から指導を受けます。先輩が新人にいいに仕事を教える、徒弟関係のようなものです。

CAROLYN KHOO : 花卉の数や根のタイプが異なる複数のカテゴリーの植物を与え、生徒に観察させます。カテゴリーに気づくように指導すれば、単子葉植物と双子葉植物の2種類に区別できるでしょう。

CAROLYN KHOO : メンター制度は多くの恩恵をもたらすと思います。第一の恩恵は、私が自分のメンターと築いた関係です。教授法という点で見ると、私が今までやってきたのは単に勉強を教えることでした。学ぶべき内容を一方的に説明し、「これが今日の勉強です。わかりましたね」と念を押すだけでした。でもアシキン先生と様々な討論を重ねた結果、質問することが重要だと学びました。ただ質問するのではなく、待たなくてはなりません。生徒が答えを出すまでの時間を与えるのです。

指導教師 (メンター) : すばらしい成果がありましたね。ただ、私はこう伝えたかったのですよ・・・。

ASHIKIN ABU : 彼女にとっての学びも、私にとっての学びも、質問することから始まります。これはどうして? あれはどうして? とお互いに疑問をぶつけるのです。時間をかけて相手の意見に耳を傾ける真剣さがあれば、そこから得るものは二人とも大きいはずです。私は心からそう感じています。

教師 : こちらの声はよく聞こえますか?

スクリーンの先生方 : はい。こちらの声も大丈夫ですか?

先生方 : 大丈夫です。では最初にこのスカイプ会議の目的ですが、予備テストは実施すべきかどうかを話し合いたいと思います。我々に共通の課題として・・・

スクリーンの先生方 : はい、共通しています。その通りですね。

ADRIAN LIM : わが校の教師は、私自身もそうですが、最もすぐれた指導方法を求めて世界中から情報収集しています。

スクリーンの先生方：今日考えたい問題の一つは、子どもたちに予備テストを受けさせるべきかどうかです。中には、坂の勾配というアイデアを思い付く子どもが出てくるかもしれませんが。様々な到達度や変化に対する理解を深めるのに有効な手かもしれません。

ADRIAN LIM：実際、この先生方は非常に好奇心旺盛です。生徒に授業を行う最善の方法を知るため、常にアンテナを張っています。

TAN OON SENG 教授：生徒に教えるのは仕事ではなく、天職を得るということです。天職であれば、任務を全うするだけの情熱を持たなければなりません。

テキストスライド：シンガポールが 1965 年に独立を果たしたとき、200 万人の国民の大半は読み書きができず、職業技術も持たなかった。政府はすぐに教育水準を高めるための対策を講じた。1970 年代初めにはすべての子どもが前期中等教育まで受けられるようになった。

テキストスライド：2009 年、シンガポールは初めて PISA 調査に参加した。読解力では平均 526 点となり、参加国中 8 位に食い込んだ。

テキストスライド：数学的リテラシーは平均 562 点に達し、上海に次いで 2 位となった。科学的リテラシーは 542 点で 4 位に入った。

DAVID HOGAN 教授：シンガポールでは、教師という職業が一般に非常に高い社会的地位を与えられていることがわかります。医者や弁護士、裁判官と並び、社会の最上層とみなされます。教師は本来、社会において非常に重要な職業的役割を担っているからです。

HO PENG：私たちは頻繁に学校を訪ね、多くの教師に会います。過去の長官と同様に、私たちは少なくとも年に 12 回は学校を訪問します。ちょうど昨日、学校を訪ねたばかりです。実際に教師の話を知ると、現場で起きている問題、現場でいま不安を感じていること、政府がどのように支援すればよいかを知ることができます。教師は最も貴重な資源であり、教師の能力向上は最大の関心を払うべき問題の一つです。私はそこに大きな期待を寄せています。